



# **ビジネスプロセス革新協議会(BPIA)**

## **2012年度 年間事業予定**

2011年11月22日現在

## BPIA について (概要)

---

企業価値の向上をめざし業務革新に取り組み、多額の情報投資をしながら、現実には成果が上がらないケースはめずらしくありません。何が問題なのでしょう。どうすればよいのでしょうか。BPIAは、わが国企業にふさわしい組織・業務革新の考え方、手法を研究する団体として1999年9月に設立されました。企業の実務家、大学研究者、コンサルタント、IT企業専門家などがBPM、ワークスタイル、次世代情報システムなど専門研究部会を組織したり、公開セミナーを開催するなど、未来志向の活動を展開しています。

会長 倉重英樹 株式会社RHJ インターナショナル・ジャパン 代表取締役会長  
副会長 仙石通泰 株式会社三技協 代表取締役社長  
竹内弘之 社団法人中部産業連盟 副会長事務局統括

### ■活動内容

〈セミナー事業〉、BPIA 理事・会員や外部講師による 〈経営サロン〉、〈会員交流会〉、ITと経営革新の流れを読み解く!! メールマガジンなどの〈オンライン活動〉、7つの〈研究会活動〉(次頁の通り) など。

### ■年会費

法人会員 A会員 30万円、B会員 18万円、有期会員 5万円、学会会員 1万2千円、個人会員 2万円 ※個人会員は原則として、個人でコンサルティング事業を営んでいる方、当協議会理事会がこの分野における経験・知識の点で、特に参加をお願いする個人の方。

### ■主な法人会員 (約40社、企業名50音順)

アーク情報システム、RHJ インターナショナル・ジャパン、日経BPマーケティング、アイティイー、日本アイ・ビー・エム、アトムシステム、アトリス、ウィンワークス、ウェッブアイ、NECソフト、NEC ネットズエスアイ、岡村製作所、おきぎんエス・ピー・オー、オリンパスビジネスクリエイツ、キャパ、コクヨファニチャー、三技協、GH ソリューション、シグマクシス、首都圏ソフトウェア協同組合、ソフタス、第一コンピュータリソース、匠 Business Place、竹中工務店、社団法人中部産業連盟、ディーネット、中川特殊鋼、日本オラクル、日本経済新聞社、日本ヒューレット・パッカー、ハーモニープラス、ファークコス、富士ソフト、プライスウォーターハウスクーパース、マイクロ ソフトウェア、三菱電機インフォメーションテクノロジー、明豊ファシリティワークス、ヤマティイー、リアライズ、リンクアンドモチベーション 他

詳細・お申込み <http://www.b-p-i-a.com>

## 研究会活動 一覧

---

---

- ネットワーク社会におけるワークスタイル、ライフスタイルを考察する
1. **働き方革新研究会（ワーク・モデル・イノベーション・リサーチ）**  
※研究会発足：2008年12月より .....P4
- BPMを人事制度、組織経営など企業活動の全体から捉える
2. **The 業務革新研究会**  
※研究会発足：2006年7月より .....P6
- 「生きがい、働きがい、やりがい」を高める
3. **面白工学研究会（第4期）**  
※研究会発足：2008年1月より .....P8
- これからの日本企業に求められるモデル、組織や情報共有のあり方を探る
4. **21世紀型情報システムを考える-20世紀からの決別- 研究会**  
※研究会発足：2008年1月より .....P10
- チャレンジ精神を忘れた日本人に気付きを与える
5. **目からウロコの新ビジネスモデル研究会**  
※研究会発足：2007年11月より .....P13
- 21世紀型の組織マネジメントを追求して経営実践の諸相を探求する
6. **生き活きた会社の作り方研究会**  
※研究会発足：2011年12月13日より新規スタート .....P14
- 戦略に基づいたWebビジネスの再構築を考える
7. **Webビジネス研究会**  
※研究会発足：2011年12月22日より新規スタート .....P16

## 参考) 2012年事業予定一覧

## ネットワーク社会におけるワークスタイル、ライフスタイルを考察する

# 1. 働き方革新研究会（ワーク・モデル・イノベーション・リサーチ）

---

「企業における仕事のやり方に関して、創造性、生産性、効率性、妥当性（最適性）、モチベーション、ワーク・ライフ・バランス等の観点から、いくつかの企業をベンチマークし、その結果をベースに、代表的な理想の働き方（ワークモデル）を提案する」「ライフスタイルとワークプレイス研究会」では、日本の企業風土を前提としたワーク・ライフ・バランスの進め方として、中堅企業に向けたワーク・ライフ・バランス推進への5つの提言をまとめた。しかしながら、この提言は概括的なものであり、実際に企業が提言を具体化し実践するには、さらに詳細な検討と経営上の問題の解決などが必要となり、越えねばならない障壁は決して小さくない。旧来からの制度や慣習のほか、セキュリティやコンプライアンスが働き方の変化や多様性を阻害する要因になっている場合もある。そこで、ワーク・ライフ・バランスを強力に推進し、長続きさせるためには、その推進そのものが経営にプラスの要因となるように、働き方（ワークモデル）を根本的に革新する必要があると考える。これまで多くの企業は莫大なIT投資をしてきたが、働き方に対するインパクトはあまり大きくはなかったのではないかと。ITによるビジネスモデルの変革を考えるときには、働き方の変革と一緒に考えるのが本筋ではないか。今回の研究会では、働き方に焦点をあて、企業における仕事の創造性、生産性、効率性、妥当性（最適性）、従業員のモチベーション、ワーク・ライフ・バランス等と働き方の関連を明確にしたいと考える。また、ITの活用で働き方をいかに変えられるか、これに付随して発生する問題をどのように克服できるかなどについて検討し、実践可能なワークモデルを検討提案する。まず、いくつかの企業のベンチマークを実施し、検討の材料を得ることからスタートする。研究会参加メンバーのビジネスに貢献できることをめざすほか、メンバー各社の働き方（ワークモデル）革新にも役立つことを目指したい。

## ■ナビゲータ

岡田正志 B&T コンサル・オフィス・オカダ 代表



<おかだ・まさし> 元NECソフト 生産革新アドバイザーエキスパート。名古屋大学大学院工学研究科修了。機器制御、ソフトウェア工学などに関する研究開発、通産省（現経産省）のプロジェクトなどに従事後、情報システム、企画などの部長職を歴任。その間、新オフィスの建設整備なども担当。現在は、生産性向上や品質向上に関与。ソフトウェア開発に関連する著訳書多数。他に、大学の非常勤講師など。

## ■実施スケジュール

◎働き方革新研究会の総括を兼ねた公開セミナーの開催：

研究会成果の紹介のほか、震災を経験しての働き方についてのパネルディスカッションを予定。日  
時：2011年12月8日 15:00-17:30（終了後に懇親会） / 中目黒プラザホール

◎公開セミナー後については、現在検討中であるが、“働き方、働きがいとは”、“いきいきと働くためには、また、そのために企業はどうあるべきか”等についての基本的議論を進める方向で検討する。

BPM を人事制度、組織経営など企業活動の全体から捉える

## 2. The 業務革新研究会

---

厳しさを増す環境の中で、我が国の企業は様々な課題を抱えている。今こそ優先順位をつけて身の丈に合った行動を機敏に実行するときだ。元気な企業から、自社として何を学び、どのように実行するかが鍵である。「業務改革」に焦点を当て、市場に受け入れられている手法・情報技術から機器に至るまで、導入企業の立場から整理し、様々な事例からヒントを提供することを目的とする。技法・手法を持つコンサル会社・研究機関、パッケージ・ツールなどを持つベンダー、技術革新の機器を持つメーカーなど、各領域から事例を持ち寄り顧客企業としての使い方を検討する場を提供する。コンサル会社・ベンダー・メーカーは自社の持っているものを事例とともに大いに宣伝発信してほしい。ユーザ企業は自社の課題をぶつけて使い勝手の感触を得ていただきたい。勿論業務改革は、その方法論、情報技術など技術的要素のみで可能になるものではない。組織を支えている働く仕組みや諸制度、ステークホルダーとの関係も無視できない。本研究会は、業務改革の技術的側面だけでなく、改革を成功に導いたと考えられる（独特な）働く仕組み、人事評価制度、社員が共有するビジョンやカルチャーなども研究スコープに入れて議論を行ってゆきたいと考えている。「The 業務革新」研究会に継続的に参画すれば、世の中の元気企業が何を活用しているかが分かり、活用を可能にする要件を体系的に理解できるだけでなく、何より視野が広まり、チャンネルができる。隔月で開くオープン形式の「The 業務革新セミナー」にて成功事例を検討し、月例の「業務革新事例検討会」ではメンバー相互の議論の促進と集約を行う。

### ■ナビゲータ

田岡賢輔 富士ソフト株式会社 ソリューション事業グループ  
総合ソリューションユニット 新ソリューション技術ディビジョン部長



<たおか・けんすけ> 東京大学大学院工学系研究科修了。1981年三井造船入社。船舶の構造計算等に 従事。1991年～2000年テキサスインスツルメンツ及びスターリングソフトウェアの日本法人にて、技術部門、コンサルティング部門の責任者としてモデルベース開発、コンポーネントベース開発の啓蒙普及活動に関わる。その後ベンチャー企業の立ち上げ、外資系ソフトウェア企業等を経て、2006年富士ソフトに参画。BPM/BAM/BIを活用した業務プロセス可視化のソリューション開発に豊富な経験を持つ。

赤城直幸 株式会社協和エクシオ ITソリューション事業本部  
SI本部 エンタープライズソリューション部 部長

## ■実施スケジュール

2ヶ月に一回程度で「業務革新」の事例研究セミナーを開催。ここでの事例研究とディスカッションを通して「業務革新」の成功要因を明確にして行く。これをまとめたものを何らかの形で経営層に向けて発信する予定。

◎第2回 2011年10月17日(月) 16:00-19:00 / アーク情報システム (終了)

テーマ：現場から全社へ広げる業務改善

～工場の改善活動を企業文化へと昇華：キューピー株式会社

篠原真人 キューピー株式会社 執行役員 生産本部 副本部長

◎第3回 2011年11月30日(水) 16:00-19:00

講演タイトル：「スマートデバイスが変革したソフトバンク社のワークスタイル」

講師：中山五輪男 ソフトバンクモバイル株式会社

ビジネス推進統括部部長 兼 シニアエヴァンジェリスト

「生きがい、働きがい、やりがい」を高める

### 3. 面白工学研究会（第4期）

---

現代は「知恵」が価値（競争力）をもつ「知恵社会」である。「知恵」を出すには、能力（知識や技法）とやる気（意欲）を全開して「本気」で実践（体験）する必要がある。面白くなれば、能力もやる気も高まり「知恵」が出やすくなる。さらに、仕事の「やりがい」や会社の「働きがい」も高まり、知的生産性が向上する。人生や仕事をもっと面白くする「面白主義」を実践するには、面白くする方法論の開発と実践が必要である。「面白工学」とは、創造力開発やプロジェクトマネジメントなどの考え方や手法を活用して、人生も仕事も面白くするための工学である。「面白工学研究会」は「面白工学」をさらに実践的、汎用的なものにしていく研究会である。今期も、個人の視点だけでなく、組織（企業）の「面白さ」に注目して、個人と組織、さらに社会の発展に寄与する研究会とする。

#### ■ ナビゲータ

瀧野康一 東洋学園大学現代経営学部客員教授、  
株式会社東レ経営研究所特別研究員



〈ふちの・こういち〉1950年大阪生まれ。1974年京都大学法学部卒。同年、東レ（株）に入社、主として人事・教育・経営企画畑を歩み、営業・生産現場を支援。2回のコーポレート・アイデンティティ（CI）開発プロジェクトに通算7年参画、工場勤務通算12年。2003年（株）東レ経営研究所取締役人材開発部門長として、東レグループ内外の人材育成支援事業を展開。2008年7月から、現職の大学教員に転身、日本の学校教育再生を目指す。ビジネスプロセス革新協議会「面白工学研究会」、企業研究会、日本能率協会の研究会などのコーディネーター、講師なども務める。著書に『部下の心を動かすリーダーシップ』『事例で学ぶヒューマンエラー対策講座（下）』（JTEX）等がある。ペンネームは「富士男♪」。ブログ「富士男♪だより」(<http://fujio-dayori.seesaa.net/>)

かせ沢孝之 株式会社データマネジメント  
執行役員 営業本部ビジネスサービス営業部 部長



〈かせさわ・たかゆき〉1983年より、SE・PMに従事。多くのITプロジェクトを経験。プロジェクトの火消しを行うなかで、PMBOKのような、マネジメント標準の適用以外にメンバーの心理状態が、大きな要素を締めることに着目し、カウンセリングや心理学を応用し成果を得た。〈主な資格〉米国PMI認定 PMP、（社）日本産業カウンセラー協会認定 産業カウンセラー。〈面白趣味〉速読による読書（現在の年間読書数は150-200冊）。映画好き（日本でロードショー公開された、スターウォーズ エピソード4の約半数のフィルムの現像した。若かりし頃は年間500本も見ていた。3~4年ほど続けた）。フォークソングギター（簡単なコードなら今でも多少が弾ける）。お料理（調理師歴5年、調理師免許を持つ。第2種衛生管理者、一応、自社の衛生管理者！）

## ■ 実施スケジュール

来年1月から6回シリーズ（うち1回はゲスト）＋特別編2回程度を予定。

◎特別編：2011年11月11日（金） 17:00-19:00 / コクヨ（霞ヶ関）

テーマ：面白仏教哲学 / 講師：ナビゲータ かせ沢孝之

◎第1回：2012年1月19日（木）17:00-19:00 オリエンテーション～人生も仕事も面白くする「面白主義」の実践。 ～そもそも「面白い」とは何か？「面白主義」とは何か？なぜ今、「面白い」が必要か？「面白要素」や「面白サイクル」などを解説しながら、この「研究会」の主旨や運営方針、目標、進め方を話し合う。

◎第2回：2012年2月2日（木）17:00-19:00 「面白主義」の実践方法1 演習：「面白まじめリーダー」モデルの研究 ～組織（会社、職場）を面白くするには、まず自分自身が「面白主義」を実践する必要がある。現状の自分の「面白まじめ」度を自己分析して、強みをさらに伸ばす。「面白主義」を実践する「面白まじめリーダー」モデルを提示して、これからの組織とリーダーのあり方を探る。

◎第3回：2012年3月1日（木）17:00-19:00 「面白主義」の実践方法2 演習：やる気と「面白要素」（合宿形式） ～やる気（モチベーション）の本質と「面白い」との関連を探る。「やる気圧（気温）」テストを活用して、仕事の「やりがい」と会社の「働きがい」を考察する。個人と組織を面白くしてやる気を高める「面白要素」や「面白交流」の実践方策を探求する。

◎第4回：2012年4月5日（木）17:00-19:00 組織と仕事を面白くするマネジメントとリーダーシップの事例研究： ～ゲストを招いて、組織と仕事を面白くするマネジメントとリーダーシップ（指導力、対人影響力）の本質と方法論を事例研究する。※ゲスト候補；徳岡晃一郎氏（フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社シニアバイスプレジデント、多摩大学大学院教授）

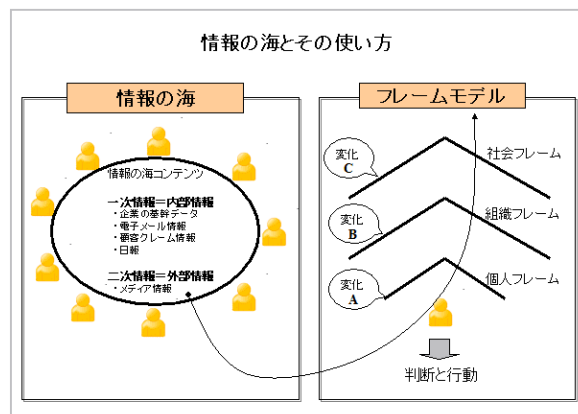
◎第5回：2012年5月10日（木）17:00-19:00 メンバーによる実践事例研究 ～これまでの気づきと学び、実践、体験から得た知見を活かして、個人と組織を面白くする実践事例を相互に紹介し、より効果的な実践方法を探求する。

◎第6回：2012年6月7日（木）17:00-19:00 相互発表、総括まとめ ～個人と組織を面白くしてやる気を高める実践事例を相互発表して、効果（成果）を確認しあう。さらに残された課題についても話し合う。

これからの日本企業に求められるモデル、組織や情報共有のあり方を探る

## 4. 21世紀型情報システムを考える-20世紀からの決別-研究会

「時代が20世紀から21世紀へと変わった今、企業情報システムも変わる必要がある。では、どんな風に？」—こんな問題意識のもと、2008年5月にスタートした21世紀システム研究会は、ナビゲータの1人である山田氏が提唱する「フレームモデル」と「情報の海」(下図)をバックボーンとして、①情報システムのあり方、②情報システムの使い方に関する議論を深めてきた。研究会は1~2ヵ月に1回の頻度で開催。2008年中は「情報の海」という概念の共有化と、企業情報システムにおいて「情報の海」的なデータベースの必要性を議論した。生データや定量情報、定性情報などを、一貫性およびリアルタイム性を保って蓄積・活用可能にするための、10箇条もまとめた。2009年に入ってから



は、情報システムの使い方に関する議論に移行。その前提条件として、社会条件や企業のあり方、そこで働く個人の行動様式などを幅広く議論してきた。それが21世紀型情報システムの存在意義、あり方に対して影響すると考えたからだ。こうした議論をへて、本研究会では、21世紀システムを構築するのに必須となる、斬新なシステム方法論や手法の研究を深める方向で研究を進める確信ができつつあると考えている。ただし、この方向は必ずしも当研究会の理論的支柱である「情報の海」と合致するとはいえず、また、たくさんある方法論の勉強会に終始する可能性もある。そうなれば様々なところで行われている研究会と大差なくなってしまう。BPIAに属する”21世紀システム”と名のついた研究会は、何を中核に据えるべきなのか。上記の方向の研究会を続けながらも、新たな視点の模索をする必要がある。その手がかりとして、2011年9月に講演した匠の萩本氏のたどった道のりが重要な示唆を与えているように見える。彼は豆蔵においてユースケースによるERPシステム仕様の見える化を地道に行なっていたが、これからの時代にはその前にある業務プロセスの見直しが必要ということで業務プロセス分析設計に目を移した。しかしその業務システムを時代に合わせるためには経営視点を問題にせねばならない、ということで匠を立ち上げて企業への提案活動を実践している。これはこれからの時代には是非必要な視点であると考えている。このため、本研究会では、実際に新たな視点をもって情報システムの構築に挑戦している/してきた人を招いて意見の交換を行い、我々の視点の発展を図ってゆくことを本年度の活動の中に加えてゆきたい。

## ■ナビゲータ

### 田口 潤 株式会社インプレスビジネスメディア 取締役 編集長



〈たぐち・じゅん〉 1984年日経マグロウヒル（現日経BP社）入社。日経コンピュータ編集部、日経AI（人工知能）ニューズレター編集長、日経情報ストラテジー副編集長、日経コンピュータ副編集長を経て、日経ITプロフェッショナル編集長、日経コンピュータ編集長などを歴任。情報技術を生かして、ユーザー企業のビジネスをいかに成功させるか、支援するかという視点から、企業情報システムのあり方や構築方法、IT業界のあるべき姿などを追いかけてきた。2008年3月末、日経BP社を退社。5月からインプレスR&Dに入社し、編集局長に就任。企業情報システム担当者に向けた新メディアの開発に取り組んでいる。2008年9月には、無料IT誌「IT Leaders」を創刊。

### 山田博英 株式会社ソフタス 顧問



〈やまだ・ひろひで〉 1965年早稲田大学工学部電気通信学科卒。65年東芝（当時・東京芝浦電気）入社。71年イリノイ大学コンピュータサイエンス修士過程卒。73年日本CDC入社。1985年ゴールドエレクトロニクス・ジャパン入社。89年日本サンマイクロシステムズ入社、98年アステック入社。2005年アールワークスに転籍、2008年9月同社を退職。同年10月より現職。山田博英コンセプトメモ (<http://www.abccommunity.org/>)

## ■実施スケジュール

◎第20回 2011年11月25日（金）15:00-17:00 研究会、17:00-18:00 交流会  
「要件開発実践への道」

荒井 康 株式会社ニッポンダイナミックシステムズ 事業推進 統括

◎第21回 2012年2月（調整中）

◎第22回 2012年4月（調整中）

◎第23回 2012年6月（調整中）

◎第25回 2012年9月（調整中）

チャレンジ精神を忘れた日本人に気付きを与える

## 5. 目からウロコの新ビジネスモデル研究会

会員企業の新規ビジネス創生の一助となることを目的に、講師を招いた講演とディスカッション。自由な通信基盤を前提として、既存ビジネスを積極的に見直し、劇的な変化を遂げている「成功事例」を中心に紹介している。研究会は、BPIA 会員アーク情報システム会議室（市ヶ谷）で、月1回の頻度で開催する。講演と討議を終えた後は、ワンコイン（500円）交流会を毎回実施し参加者同士の交流も深めている。進行は、研究会ナビゲータがつとめる。今年度も同様にジャンルを問わず、面白い試みを紹介していきたい。



### ■ナビゲータ

#### 片貝孝夫 片貝システム研究所 代表



〈かたかい・たかお〉東京理科大学理学部物理学科卒業。重電機メーカーのコンピュータ導入準備室勤務からコンピュータにかかわり、その後、ソフト会社勤務を経て株式会社片貝システム研究所設立。成蹊大学経済学部講師。合併により株式会社シーエーシーオープンシステム事業部長。人材派遣のパソナソフト（現在アイティット）を経て、アクシスソフトに転職し、リッチクライアント Biz/Browser のエバンジェリストを務めるかたわら、個人として片貝システム研究所を主宰。昭和21年生れ。

ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/katakait/>

#### 岩佐 豊 有限会社ワイエスマネジメント 代表取締役社長



〈いわさ・ゆたか〉早稲田大学政治経済学部経済学科卒。昭和45年ダイヤモンド社入社後、一貫して経済畑を歩み、週刊ダイヤモンドの編集長を経てダイヤモンド社の社長・会長を歴任し、取材、交流により経済界トップとの深く広い人脈を持つ。現在は日本図書普及（株）監査役、（株）毎日コムネット取締役、ワイエスマネジメント代表取締役、ハートアンドブレインコンサルティング（株）取締役、協同組合ワイズネットワーク代表理事 他、多数の社外取締役を務める。 普通の社会人スキルからマクロ経済まで解りやすい話が定評で、各方面から講演講師に招かれている。

## ■実施スケジュール

最終週の火曜日 16:00 から、市ヶ谷アーク情報システム大会議室にて開催。

◎第46回 2011年10月25日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

テーマ：省エネ、創エネ、蓄エネで快適で持続可能な社会は実現できる！

講師：堀内道夫 株式会社 光と風の研究所 代表取締役

◎第47回 2011年11月29日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

テーマ：ぶれない指標「人口動態」から日本の進路を考える

講師：花松甲貴 株式会社日立製作所 情報・通信システム社 人事総務本部主任  
ドロッカー学会企画委員

◎ 第48回 2011年12月20日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

テーマ：電子書籍の作り方・売り方(仮)

講師：小島孝治 株式会社エア 代表取締役社長

以降、テーマ・講師は調整中。

◎第49回 2012年1月31日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第50回 2012年2月28日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第51回 2012年3月27日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第52回 2012年4月24日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第53回 2012年5月29日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第54回 2012年6月26日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第55回 2012年7月31日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第56回 2012年8月28日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

◎第57回 2012年9月25日(火) 16:00-19:00 / 市ヶ谷 アーク情報システム

21世紀型の組織マネジメントを追求して経営実践の諸相を探求する

## 6. 生き生きした会社の作り方研究会

企業はグローバル化する市場に向き合って、その多様性と激しい競争にスピーディに対応してゆかねばならない。多様化、個別化する顧客の課題をつかみ解決してゆくには、これまでの管理、集権、効率、マニュアルをキーワードとする工業社会型の働き方や組織や人事の仕組みでは対応できない。社員の多様な知識・経験を機動的に組み合わせることのできる組織の柔軟性、個人とチームをダイナミックに評価する仕組み、また働く人にとっては、モチベーション高く、働きがいがあり、ワーク・ライフ・バランスを通じて自己実現できる仕組みが今求められている。こうした新たな組織マネジメントを追究するシグマクス社での、オフィスやワークスタイルへの経営者の関わり方やこれまでの経営実践を検証しながら、これからの日本企業のカタチを考える。

### 経営プラットフォーム

モチベーション/イノベーション/スピード

創出

プラットフォーム

- ・P&C/S&Nワークスタイル
- ・プロフェッショナル人事制度
- ・プロジェクトワーク
- ・オペレーション可視化
- ・KM
- ・デジタル/モバイルWP

M3.0/D3.0/W3.0環境

#### シグマクスについて；

2008年、倉重英樹氏をCEOに、三菱商事とRHJインターナショナルが共同出資する形でスタートした経営コンサルタント会社。経営者の課題に対する具体的な解決策を、「プログラム・アプローチ」という手法で提案することが特徴。具体的には経営課題を解決すべく、顧客と手を携えながら、一体となって、「プログラム」を実行していく。共にひとつの目標を達成しようというパートナーシップによる価値創造を目指している。「成功報酬型契約」もそのひとつの形とも言える。「いつ、どこで働いてもよい」、「ダイバーシティによる多様性尊重」、「妊娠休暇」、「第3子以上100万円出産祝金」など、働き方がユニークな会社としても知られている。

## ■参加者

経営層および企業改革部門管理職・担当者など

## ■ナビゲータ

小田 昆古 プレイス・リサーチ・センタ代表



〈おだ・ひこ〉早稲田大学第一商学部卒業。日本ヒューレット・パッカード(株)で不動産部長、ワークプレイス・ソリューション部門長を、2001年まで12年間歴任。この間、オフィス改革に取り組み、通産大臣賞を含む日経ニューオフィス賞を5回受賞。現在はワークプレイス・リサーチ・センタ代表を務めるとともに、BPIAの「ライフスタイルとワークプレイス研究会」(2009年度実施)座長として活動。(社)日本ファシリティマネジメント推進協会(JFMA)の前ベンチマークデータセンター長。

## ■スケジュール

◎第1回 2011年12月13日(火) 15:00-17:00 / 神谷町 シグマクシス社

経営者向け・オープンセミナー

テーマ： 知識社会の組織経営 ～M3.0/D3.0/W3.0～

講師： 倉重英樹 BPIA 会長

◎第2回 2012年1月17日(火) 15:00-17:00

研究会：ワークスタイル/プロジェクトワーク

◎第3回 2012年2月21日(火) 15:00-17:00

研究会：デジタル・モバイルワークプレイス

(オフィスの役割、ICT)

◎第4回 2012年3月21日(水) 15:00-17:00

研究会：プロフェッショナル人事制度

(モチベーション、人事評価)

◎第5回 2012年4月17日(火) 15:00-17:00

研究会：経営の可視化(プロセス&システム)

◎第6回 2012年5月22日(火) 15:00-17:00

研究会：ナレッジマネジメント

◎第7回 2012年6月19日(火) 15:00-17:00

研究会：生き活きた会社ー実践事例1.

◎第8回 2012年7月17日(火) 15:00-17:00

研究会：生き活きた会社ー実践事例2.

◎第9回 2012年9月(日程調整中)

経営者向け・オープンセミナー：研究会中間まとめ

## 7. Webビジネス研究会

---

---

Web ビジネスといえば、「他社に先んじて、ホームページを作り、広告を出し、システムを導入する」こと自体が価値を持っていた時代がありました。しかし今や先行者利益は色褪せ、いつの間にか Web の成長速度から遅れをとった企業、もしくは未だに Web でのビジネスモデルが見いだせていない企業もあるのではないのでしょうか。

とはいえ、Web をベースにしてビジネスモデルを描き、ビジネスを展開しようとするとき、最適なモデルや手段を選択し、最適なマネジメントのできる人材はまだまだ Web 業界には十分に育っていません。Web 広告代理店や HP 制作会社、SI ベンダーなど、「お金を出せば補ってくれる」人はいます。また、「事例やノウハウを提供してくれる」Web コンサルタントという職業はありますが、その多くは Web 広告業界や IT 業界などの特定分野に偏った知識や経験しか持っておらず、そのアドバイスはクライアントが真に求めるものとなっていないのが現状です。また、自社サービスの Web ビジネスの仕組みづくりを他社に任せ続けてきた結果、「手段が目的化、手段が戦略化」し、Web ビジネス強化の必要性を感じながらも、「どこから手を施せばいいかわからない」という状態もあるかと思います。

Web を十分に有効活用するためには、一貫した Web 戦略に基づいて「何のためにこのホームページを作るのか?」、「期待される効果に対してこの広告費は適切か?」、「自社のビジネスモデルに対してこのシステムは適切か?」といった、ビジネス展開のための手段の検討が不可欠です。

本研究会では、ゲスト講師の Web ビジネスやアプローチ手法、補完サービスへの取り組みを学びながら「次の時代の Web ビジネス戦略とその展開」について知見を深め、自社の「戦略に基づいた Web ビジネス」の再構築を考え、見つめ直す機会にすることを目的にします。

## ■ ナビゲータ

石田麻琴 株式会社ECマーケティング人財育成 代表取締役社長



〈いしだ・まこと〉 早稲田大学卒業後、ネット通販ベンチャーに6年間勤務。1年間で売上7,000%アップ。1人で年商3億円を実現。仕入・マーケティング・システム開発・マネジメントなど、ネット通販の経営力を徹底して身につける。「『いつかやろう』を、『いまやろう』に」をテーマに、ネット通販を中心としたインターネットビジネス支援の株式会社ECマーケティング人財育成を設立。自身のtwitterでは「読んで得するネット通販のコツ」を連載中、フォロワー4万人を突破。徹底した「本質主義」の姿勢と提案から、ネット通販だけでなくWEB関連のセミナー講演も受けている。クライアント満足度・信頼度100%を目指している。

谷口擴朗 京セラコミュニケーションシステム株式会社(東京支社)  
エンジニアリング事業統括本部 顧問



〈たにぐち・かくろう〉 昭和20年生まれ。京都大学法学部卒。  
昭和43年住友銀行(現三井住友)入行。同駒川町支店長、梅田新道支店長を経て平成7年日本高速通信(株)に入社 同社取締役。KDD株式会社取締役大阪支店長。KDDI株式会社 理事東海支社長、平成15年同常務理事北海道総支社長。平成17年 KDDI テクノ取締役執行役員専務 西日本本部長、経営管理本部長を経て平成20年7月より現職。

時代の変化に乗り遅れないよう勉強もしながら、銀行21年、通信会社23年の様々な苦労・体験を生かし、今後は縁ある人々のお手伝いをしながら人のため、社会のため、地球のためになれるようにと考えて生きています。BPIA 会員コラム

<http://www.b-p-i-a.com/column/110727.html>

## ■実施スケジュール

全5回シリーズ 11月よりスタート。隔月に開催する。

◎第1回 2011年11月22日(火) 16:00-17:00 セミナー 18:00-交流会  
「グローバルWebとエスノグラフィー」

ゲスト講師： 田中猪夫 FatWire株式会社 代表取締役  
上平泰輔 株式会社大伸社 常務取締役

◎第2回 2012年1月24日(火) 16:00-17:00 セミナー 18:00-交流会

ゲスト講師： 中村義之 株式会社みんなのウェディング 取締役

◎第3回 2012年3月13日(火) 16:00-17:00 セミナー 18:00-交流会

◎第4回 2012年5月15日(火) 16:00-17:00 セミナー 18:00-交流会

◎第5回 2012年7月10日(火) 16:00-17:00 セミナー 18:00-交流会